

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-240651

⑤ Int. Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)10月28日

B 65 D 33/25  
30/20  
33/22

A 6833-3E  
C 8208-3E  
6833-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 横ガゼット付袋体

⑯ 特 願 平2-31633

⑰ 出 願 平2(1990)2月14日

⑱ 発 明 者 谷 野 充 静岡県浜松市有玉北町2136-1

⑲ 出 願 人 株式会社生産日本社 東京都千代田区麹町5丁目3番地

⑳ 代 理 人 弁理士 平井 二郎

明 細 書

1. 発明の名称

横ガゼット付袋体

2. 特許請求の範囲

単層又は複層フィルムからなる袋体の両側にV字状に折り込んだ横ガゼットを有する袋体において、前記一側方の横ガゼットフィルムを形成するV字状折り込み片の一片を他の一片よりも折り込み中心線から側端線までの幅を広くした突片とし、この広幅突片の横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとが対面する端縁に合成樹脂製雄雄爪型のチャックを設け、このチャックにより横ガゼット部を開閉可能な開口部を形成し、このチャック軸線と直交する袋体上部を充填開口部となし、これに対する袋体下部にはV字形接着ラインの先端角が前記両側横ガゼットの折り込み中心線上に位置するよう横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとをV字形ライン接着を施すと共に、袋体の下辺部に前記V字形接着ラインと交差して前記下辺と平行な

直線ラインの接着を施し、前記V字形接着ラインとチャックが交差する交点部を押し潰した扁平部を形成したことを特徴とする横ガゼット付袋体。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明は、単層又は複層フィルムからなる横ガゼット付の袋体に関するものである。

<従来の技術>

2枚の胴体用フィルムの両側端に、V字状に折り込んだガゼット用フィルムを溶着し、この袋体の上部開口部の内側面に合成樹脂製雄雄爪型のチャックを設け、かつ袋体の底部を折り曲げて内容物の重力によって自立可能とした横ガゼット付袋体は、例えば特開昭62-260658号で見られるように公知である。

<発明が解決しようとする課題>

横ガゼット付袋体は、横ガゼット部を拡げることにより袋体の容積を可及的に増大することが目的であり、チャックを備えた開口部を横ガ

ゼット部に設けることは着目されておらず、チャックを備えた開口部は専ら袋体の上部に限定される。このため、商品メーカー等において、袋体の開口部から物品を充填する場合、チャックの開閉操作を必要とするので、手間のかかる充填作業を余儀無く行っている。その為に充填作業の能率向上に難点があり、コスト高となっている。

また、商品の種類によっては、上部開口部にチャックを設けた袋底の深い堅型の袋体では需要者にとっては内容物の取り出しが不便な場合がある。

#### <課題を解決するための手段>

本発明は、上記従来の問題点を解消した横ガゼット付袋体を提供するもので、その特徴とする構成は、単層又は複層フィルムからなる袋体の両側にV字状に折り込んだ横ガゼットを有する袋体において、前記一方の横ガゼットフィルムを形成するV字状折り込み片の一片を他の一片よりも折り込み中心線から側端縁までの幅

を広くした突片とし、この広幅突片の横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとが対面する端縁に合成樹脂製雄雄爪型のチャックを設け、このチャックにより横ガゼット部を開閉可能な開口部を形成し、このチャック軸線と直交する袋体上部を充填開口部となし、これに対する袋体下部にはV字形接着ラインの先端角が前記両側横ガゼットの折り込み中心線上に位置するよう横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとをV字形ライン接着を施すと共に、袋体の下辺部に前記V字形接着ラインと交差して前記下辺と平行な直線ラインの接着を施し、前記V字形接着ラインとチャックが交差する交点部を押し潰した扁平部を形成したものである。

#### <作用>

上記の構成により、商品メーカー等における物品の充填はチャックを有していない袋体上部の開口部から充填を可能とし、横ガゼット部のチャックの開閉により大きな開口が得られ、物品の取り出しを容易にする。また、V字形接着ラ

インとチャックが交差する交点部を押し潰した扁平部は、袋体の底部を折り曲げて内容物の重力によって自立させるときに、チャックの折り曲げ反発力を扁平部によって消去し、袋体底部の折り曲げを容易とする。さらに、チャックを設けた側の横ガゼットフィルムは広幅の突片により、これがチャック解脱時の指先による摘み片となり、チャックの解脱操作を容易にするものである。

#### <実施例>

以下本発明の実施例を図面に基づいて説明する。第1図及び第2図において、1は横ガゼット付袋体であり、2a、2bは前記袋体1を構成する単層又は複層の胴体フィルム、3a、3bは前記胴体フィルム3a、3bの両側にV字状に折り込んだ横ガゼットフィルムである。

本発明は、前記一方の横ガゼットフィルム3aを形成するV字状の折り込み片の一片の折り込み中心線Oから側端縁までの幅B1を他の一片の幅B2よりもだけ長くした広幅の突片9を形成

し、この突片9の横ガゼットフィルムと袋体1の胴体フィルム2aが対面する端縁に合成樹脂製雄雄爪型のチャック6を設け、このチャック6により一方の横ガゼット3aの部位に閉可能な開口部を形成し、このチャック6の軸線と直交する袋体上部を充填開口部5とする。

一方前記充填開口部5に対する袋体下部には、第1図並びに第3図で示すように、V字形接着ラインの先端角が前記両側横ガゼットフィルム3a、3bの折り込み中心線O上に位置するよう横ガゼットフィルム3a、3bと袋体1の胴体フィルム2a、2bとをV字形ライン接着8を施すと共に、袋体1の下辺部に前記V字形接着ライン8と交差して前記下辺と平行な直線ライン接着4を施す。

さらに、前記V字形ライン接着8とチャック6が交差する交点部を押し潰した扁平部7を形成したものである。尚、必要に応じて前記チャック6の近傍の横ガゼットフィルム3aと胴体フィルム2aとの端縁にカットライン10をチャック

6と平行に形成される。

本発明は上記の通りの構造よりなる横ガゼット付袋体であるから、商品としての物品をメーカ等で袋詰め充填する場合は、袋体1の上部で開口している充填開口部5から充填する。この際、充填開口部5にはチャックは存在しないため、従来のようにチャックの開閉作業を不要とし、迅速容易な充填作業を遂行することができる。

需要者における袋体1内の物品の取り出しには、横ガゼット部に設けたチャック6により袋体サイド開閉形式となり、袋体上部にチャックを備えた上部開閉形式に比較すると大きな開口となつて物品の取り出しを容易とし、袋体の底部に収納されている物品も簡単に取り出すことが可能となる。

さらに、第5図で示すように、袋体を内容物の重力によって自立させるときに、袋体1の底部を折り曲げて底面を平に形成する際には、この折り曲げ部となるV字形接着ライン8とチャ

ック6が交差する交点部を押し潰した扁平部7が形成されているため、この扁平部7によって肉厚柔のチャック6が有する弾発力が打ち消され、折り曲げ部の弾性復元がなくなり、袋体底部の折り曲げ形態を保持し、安定した自立状態とするものである。

さらに加えて、チャック6の雄雄爪の解脫時は袋体1の側端縁より突出し広幅の突片9が指先にて把持する摘み片となり、チャック6の解脫操作を容易、かつ確実に行うものである。

#### <発明の効果>

以上のように本発明によると、一側方の横ガゼットフィルムを形成するV字状折り込み片の一片を他の一片よりも折り込み中心線から側端縁までの幅を広くした突片とし、この広幅突片の横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとが対面する端縁に合成樹脂製雄雄爪型のチャックを設け、このチャックにより横ガゼット部を開閉可能な開口部を形成し、このチャック軸線と直交する袋体上部を充填開口部となし、これ

に対する袋体下部にはV字形接着ラインの先端角が前記両側横ガゼットの折り込み中心線上に位置するよう横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとをV字形ライン接着を施すと共に、袋体の下辺部に前記V字形接着ラインと交差して前記下辺と平行な直線ラインの接着を施し、前記V字形接着ラインとチャックが交差する交点部を押し潰した扁平部を形成した構成であるから、横ガゼット付袋体において、チャックによるサイド開閉可能な袋体を得られ、チャックを有しない袋体上方の開口部から物品の充填を高能率行うことができ、物品の取り出しは袋体サイドの大きな開口によって取り出し易くし、かつ袋体底部の物品も容易に取り出すことができ、需要者に対して便利性を高揚するものである。

さらには、横ガゼット部にチャックを設けていても、袋体を自立可能とするための底部の折り曲げは、前記押し潰し扁平部によってチャックの弾性復元力を消去し、底部の折り曲げ形態

を確保し、袋体底面を平面とする安定した自立を可能とし、さらに加えて、チャック6雄雄爪の解脫時は袋体の側端縁より突出し広幅の突片が指先にて把持する摘み片となり、チャックの解脫操作を容易、かつ確実に行うことができ、従来の横ガゼット付袋体では得られなかった格別な効果を有している。

#### 4. 図面の簡単な説明

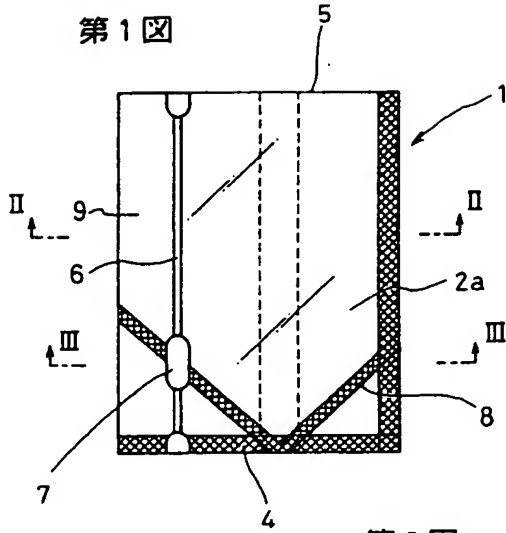
第1図は本発明の正面図、第2図は第1図Ⅱ-Ⅱ線断面図、第3図は第1図Ⅲ-Ⅲ線断面図、第4図は袋体底部における横ガゼット部の正面図、第5図は本発明の袋体の斜視図である。

1…袋体、2a、2b…胴体フィルム、3a、3b…横ガゼットフィルム、4…直線ライン接着、5…充填開口部、6…チャック、7…押し潰し扁平部、8…V字形接着ライン9…突片。

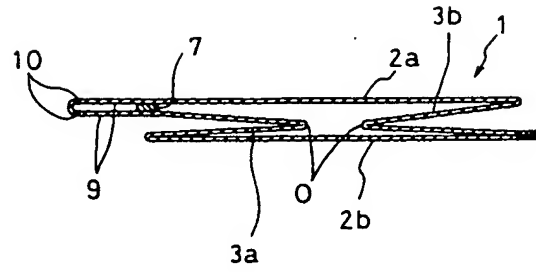
特許出願人 株式会社生産日本社  
代理人 平井二郎



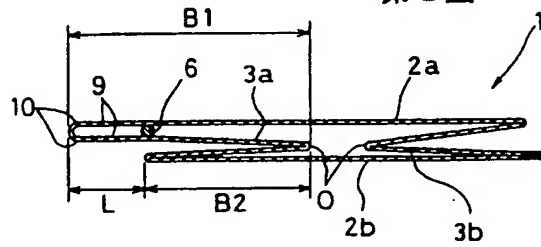
第1図



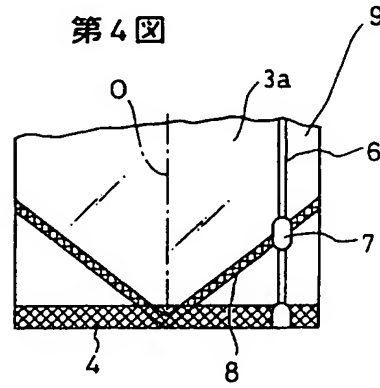
第3図



第2図



第4図



第5図

